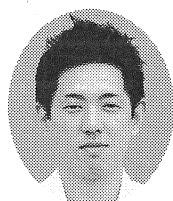


技あり

ブレーキと間違えてアクセルをギョッと踏んでも車が急加速しないのが、サンクラフト（伊勢崎市市場町、鈴木順社長）が開発した「誤発進防止システム」。「悲惨な事故を未然に防ぎたい」という願いを込めた商品だ。昨年3月に発売し



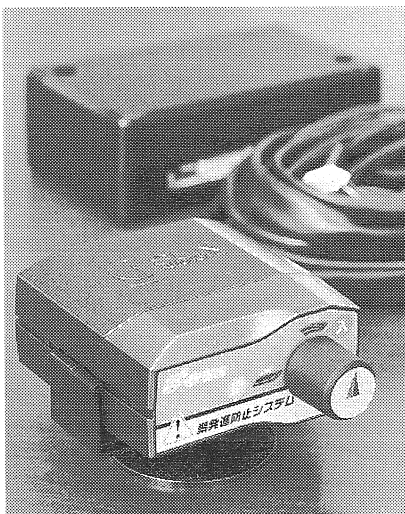
鈴木順社長

「ひと言」事故を未然に防ぎ、人々が安全・安心に暮らせるための製品開発を目指しており、今後も新商品を提案したい。

誤発進防止システム

サンクラフト（伊勢崎市市場町）

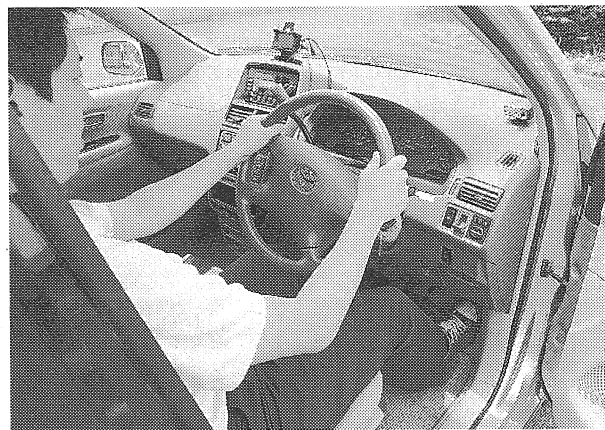
アクセルの踏み間違いによる急発進を抑制する誤発進防止システム



すでに1500台を販売している。誤発進の事故は、前向き駐車した後の出発

急加速防ぎ 事故回避

のは停車時か低速時。時によく起きている。思い切りアクセルを踏み込むと、瞬時に「ピー」と警告音が鳴り、アクセルを踏むと同時にシステムが「誤発進」と判断し、エンジンの回転数を抑える。車はオートマチック車のクリープ現象により、時速数キロで



右前方のダッシュボードに誤発進防止システムを搭載。アクセルを急激に踏み込んでも車はノロノロ進むだけ

事故は全国で毎年7千〜8千件発生している。誤発進防止システムなら、こうしたケースでの被害を低減できるといふ。

3年前から開発に着手した。一番の難点は、どこまでが通常の運転で、どこからが誤った踏み込みかの判断。実証実験を積み重ねるとともに、運転手ごとのアクセルワークを学習する機能を付けることで解決した。

まっ。交通事故総合分析センターによると、ペダルの踏み間違いによる。昨年3月の発売当初は8万円だったが、普及が進んでコストダウンでき、現在は4万円

工夫しました

アクセルの踏み方は運転手によって千差万別。グッと踏み込んで急加速する人もいる。このため最初にシステムを車に取り付ける際、運転手の踏み込みの特徴をシステムが学習する機能を搭載した。システムの生産コストは上がり、取り付けは全国230店の認定工場ではできないが、安全性の向上を実現している。